

アメリカのニューヨーク州ロチェスターにあるロチェスター工科大学 (RIT) に派遣留学している玉置賢人です。アメリカに来て間もなく 4 ヶ月になります。今回は夏学期の終わりからの生活について報告させていただきます。

ロチェスターはニューヨーク州にあるものの、自然豊かな街並みで、緑が本当に多い所です。RIT の周りには、多くの寮が存在します。私は 6 人で 2 個ずつのトイレ、シャワールーム、そして洗面所を共有しています。私は、ブラジル人の留学生とルームシェアしています。部屋には、机、収納棚のあるベッド、そしてクローゼットがあります。室内温度は窓を開けない限り、自動で一定に保たれます。キャンパス内にある寮なので、クラスルームまで歩いて 10 分程です。気温は 20℃前後で、夏でも少し肌寒く感じます。

これは、ここの大学の学生の特色なのか、アメリカならどこでもそうなのか分かりませんが、RIT や 3 つのギリシャ文字 (色々なパターンがある) の入った T シャツや帽子を着ている学生がびっくりするくらい多いです。RIT のマスコットは虎なので、オレンジ色でとても目を惹きます。寮の周りには、これらの RIT グッズ販売店の他に、食料雑貨店、理髪店や郵便局、銀行等、娯楽設備以外は大体揃っています。キャンパス内には多くのカフェテリアが存在します。その内の 3 つをよく利用しますが、どれも少し割高に感じます。というのも、KIT の質の高い学食に慣れていたからかもしれません。バリエーションは豊富なのですが、料理の盛りつけ方に文化の違いを多少感じてしまいます。オーダーの仕方も全て口頭で一つ一つ確認していくように行います。持ち帰るかカフェテリア内で食べるかも必ず聞かれます。リサイクルにも配慮しており、再生紙を使った紙パックでプラスチックの利用を減らすようにしているのが見てとれます。

秋学期が 8 月 25 日より始まり、授業もいよいよ本格化し始めました。私は RIT English Language Center のアドバンスドクラスで 5 つのクラスを受けています。ライティングの授業では、エッセイをいくつか書きました。たいていは読んだ論文の内容について関連する事柄を指定された形式に則って答えていきます。クラスの過半数はブラジル人で、他はサウジアラビア人も多いです。授業は、先生が学生に質問し、学生が自由に回答という形式で主に行われます。プレゼンテーション及びディスカッションのクラスでは、プラスチックの廃棄問題や小さな家を持つこと、男女間に育児能力の違いはあるか等バラエティに富んでいます。どれも新鮮なトピックなので興味を持って取り組んでいます。積極的な発言を心がけていくようにしたいと思います。

以上